

国語科 中学校 1年

単元名新しい世界へ「にじの見える橋」

本時の流れ（第2時）

本時の目標

- 人物の行動から、心情の変化をとらえる。
- 人物の心情を表す表現に着目して、作品の理解を深める。

- ・前時の学習の過程を振り返る。
- ・本時の目標と、課題について理解する。

【めあて】

- ・心情と関連する行動を指摘する。
- ・行動から心情を推し量る。
- ・心情の変化をつかまえ、グラフに表す。

ワークシート2はこちら

CLICK

- ・後半を音読する。
- ・ワークシートを利用し、内容の理解を深める。

語彙を豊かに体得することで、内容理解を深めるとともに、進んで読書しようとする意欲も高めることができる。

このとき、辞書的な意味をしっかりと身に付けることと、文脈上の意味を理解することの両方を大切にしたい。

- ・主人公の行動を抜き出す。
- ・行動から主人公の心情を推し量る。

行動を抜き出す時には、動詞を手がかりにするが、動詞だけでは心情を推し量ることは難しい。そこで注目するのが修飾の言葉である。

前時の授業で、心情から行動を指摘させるときに、修飾の言葉に注目させることで、本時の活動につなげたい。

修飾する言葉の働きが理解できない生徒には、修飾の言葉を省いた表現や、別の修飾の言葉を用いた表現と比べさせることで、働きを実感させたい。

(例)

- 少年も大声で呼び返す。
- 少年も呼び返す。
- 少年もためらいがちに呼び返す。

- ・グループに分かれ、作品全体を通しての主人公の心情の変化を確認する。
- ・グループで話し合っ、グラフに表す。

言語活動の充実
グループ活動によって
発言機会を確保する。

理解したことを整理することが大切である。
今回は、グラフという手段を用いた。

- ・グラフに、行動や出来事などを書き込み、完成させる。

HOME

単元の流れへ